

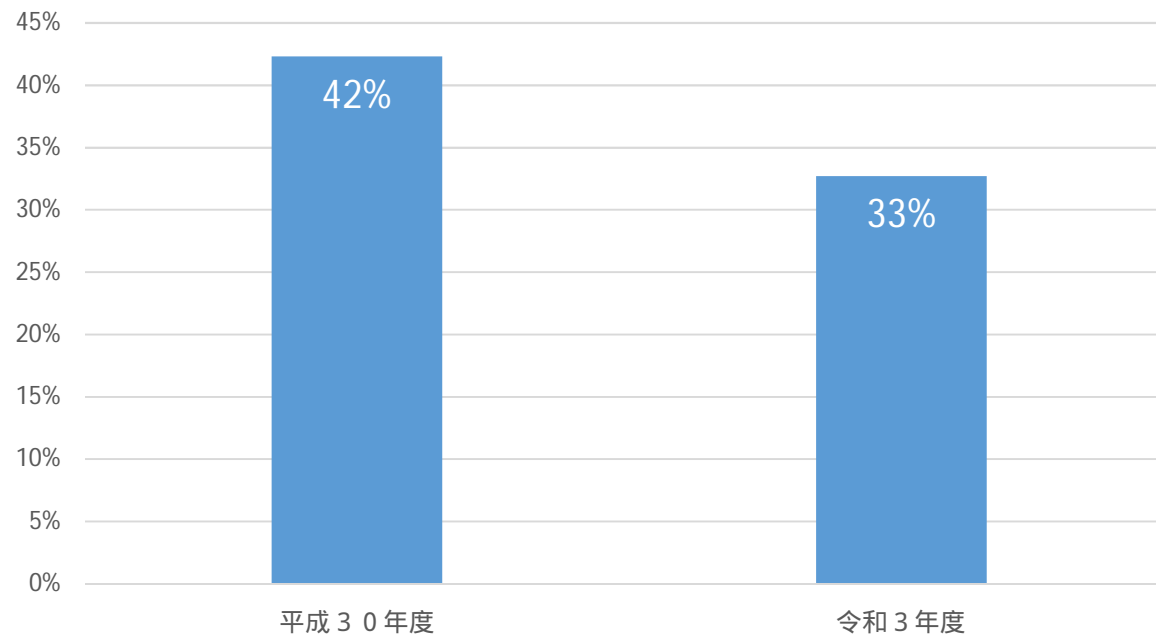
■各主体による目標達成に向けての進捗管理

主体先	目標	進捗管理方法
市民	地域活動への参画 支え合いによる地域づくり	市民に対する意識調査による進捗管理 (調査方法は今後検討)
行政	総合的な相談支援体制	総合的な相談支援体制の確立
社協	社会福祉協議会の体制強化	社会福祉協議会運営強化計画による進 捗管理

市民の目標

- 地域活動への参画
- 支え合いによる地域づくり

地域活動やボランティアに参加した人



「戸田市市民意識調査」中、「地域活動やボランティア活動への参加」の「参加したことがない」の比率を100%から引く

行政の目標

- 総合的な相談支援体制
(総合的な相談支援体制の確立)

戸田市 福祉総合相談窓口



お客様の悩みを **ぜひ** 相談して下さい。

私たちは、
福祉のコンシェルジュです。
(総合相談係)



秘密
厳守

相談
無料



福祉の困りごとについて、
専門のスタッフが丁寧に相談を受け、
内容に応じたサポートをします。



048-446-7838

(事前予約いただければ、お待たせせずにご相談できます。)

〒335-8588

埼玉県戸田市上戸田1-18-1

戸田市役所1階(生活支援課内)

開設日時 月～金曜(祝祭日を除く)

8時30分～17時15分

E-MAIL : todafukushi@roukyou.gr.jp



目的・概要

- 福祉の困りごとに関して、どこに相談したら良いかわからないといった市民に対し、相談しやすい環境を整備する
- 相談員が、複合的な課題を整理し、関係部署、他の関係機関との連携、調整を図りながら継続的で切れ目のないフォローを実施

目的・概要

- 戸田市内に在住している者及び在住している者の親族等
(戸田市内に生活実態のある者で、住民登録の有無は問わない)

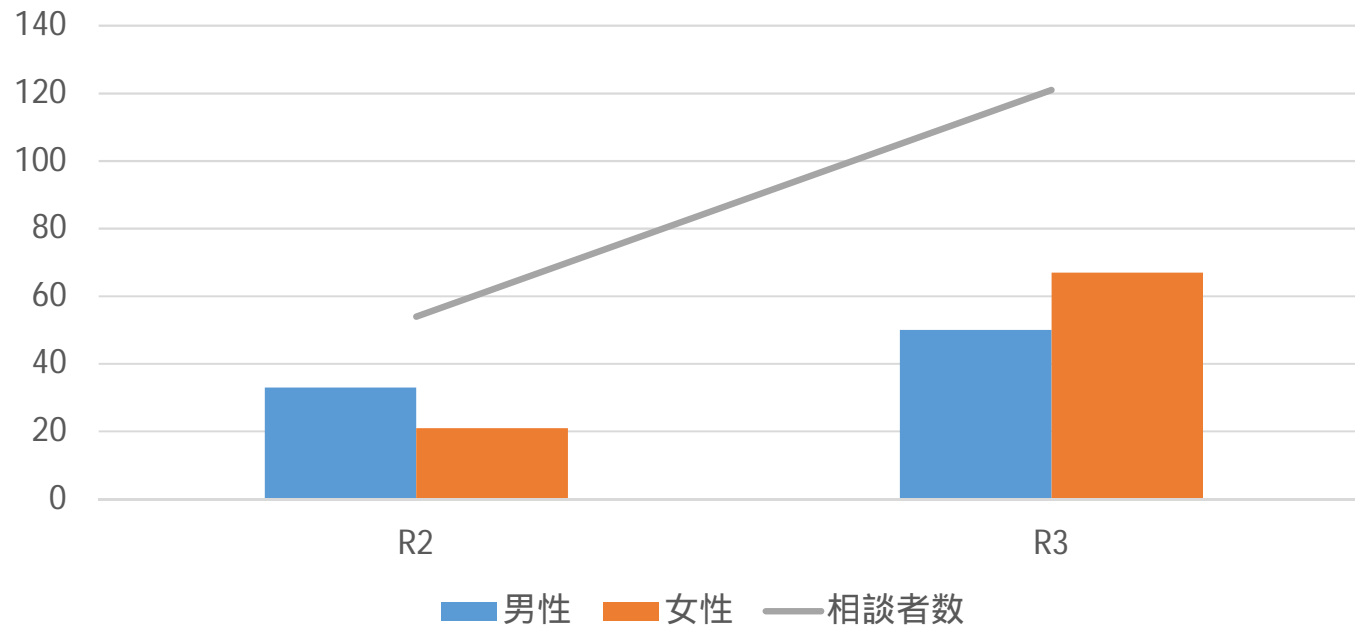
相談体制

業務委託

- 相談員を軸に、併設する「戸田市生活自立相談センター」の相談支援員と連携を密にし、関係部署、他の関係機関との相互協力を行う
- 相談業務の経験があり、福祉業務に精通している相談員が相談者に寄り添い、真摯かつ丁寧に対応
- 相談者の状況に応じて、必要な調整を行い、市の関係部署、他の関係機関などの適切な制度、サービスにつなぐ

窓口相談者数

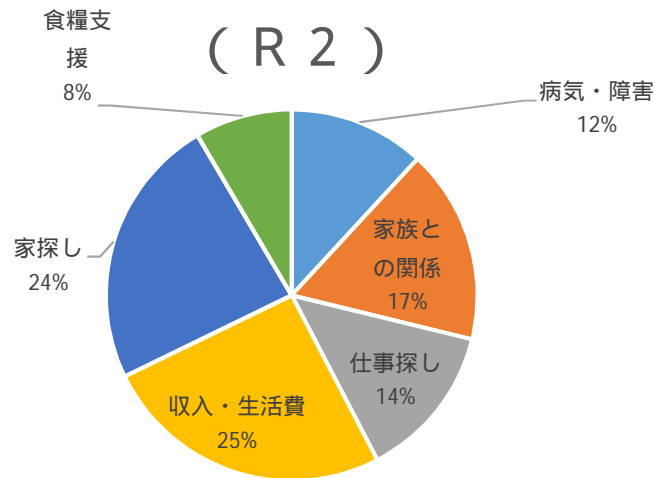
福祉総合相談窓口相談者数



令和2年度 相談者数 54名（平均年齢57.5歳）
令和3年度 相談者数 121名（平均年齢57.9歳）

相談内容別集計

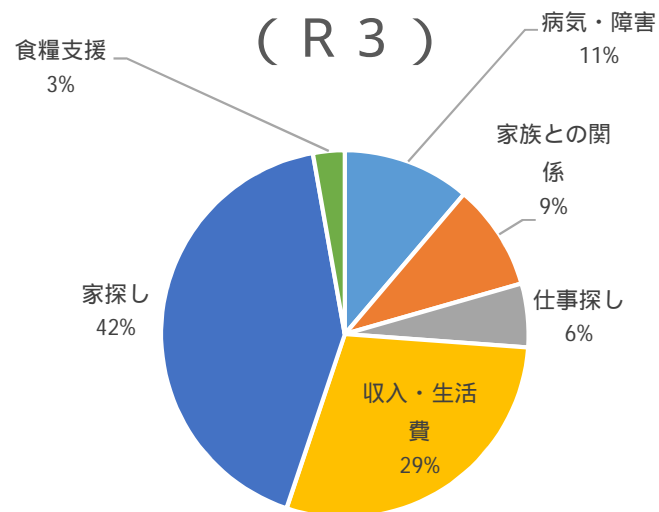
上位6件のみ（重複あり）



相談件数 74件（重複あり）

主な相談内容

- 収入・生活費 15件
- 家探し（転居支援） 14件
- 家族関係 10件
- 仕事探し 8件
- 病気・障害 7件
- 食糧支援 5件



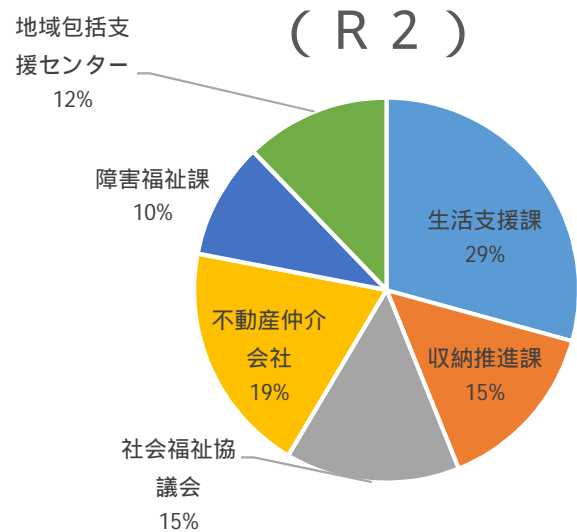
相談件数 138件（重複あり）

主な相談内容

- 家探し（転居支援） 45件
- 収入・生活費 31件
- 病気・障害 12件
- 家族関係 10件
- 仕事探し 6件
- 食糧支援 3件

つなぎ先別集計

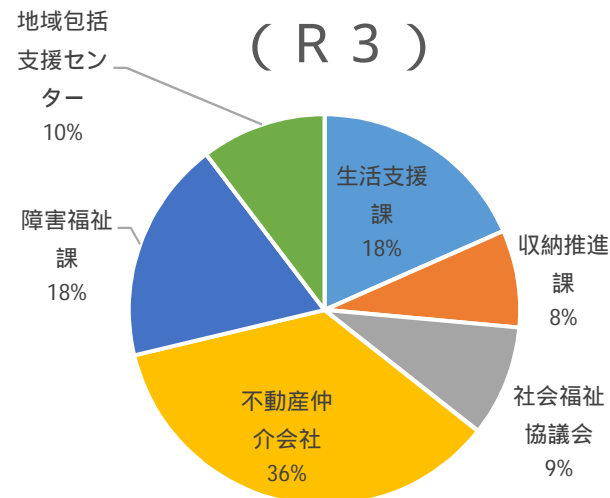
上位6件のみ（重複あり）



つなぎ先件数 70件（重複あり）

主なつなぎ先

- 生活支援課 12件
- 収納推進課 6件
- 不動産仲介会社 8件
- 社会福祉協議会 6件
- 地域包括支援センター 5件
- 障害福祉課 4件



つなぎ先件数 148件（重複あり）

- 不動産仲介会社 31件
- 障害福祉課 16件
- 生活支援課 16件
- 地域包括支援センター 9件
- 社会福祉協議会 8件
- 収納推進課 7件

社協の目標

- 社会福祉協議会の体制強化
- 社会福祉協議会運営強化計画による進捗管理

本計画は平成30年度から令和4年度までを計画期間としており、令和3年度は4年目となります。

3つの取り組み方針の下で事業を行ってきましたが、コロナ禍は依然継続しており、地域福祉活動にも少なからぬ影響を及ぼしました。

しかし、これらの経験を踏まえ、様々な工夫により、年度の後半には休止していた事業の再開や新たな試みも始まっております。

令和3年度の取組状況を踏まえ、主なものについて報告します。

1 地域で活躍する人の育成と仲間づくり		
重点的な取り組み	進捗状況	課題（今後の方向性）
地域で活動する人材の育成 支部活動への支援の充実 住民参加の促進と連携	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに、目的型ボランティア育成講座として福祉学習ボランティア養成講座（全2回）を実施したところ、修了者（8名）によるボランティア団体が立ち上がった。 ・市内の社会福祉法人等との連携・協働のため、連絡会設置に向けた準備会を2回、代表者会議を1回開催した。 	地域住民の疑問や相談に答えながら、地域で活躍する人の育成と仲間づくり支援を継続的に実施する必要がある。また、社会福祉法人の地域における公益的な取組みを進める役割が、本会に求められている。
2 地域における生活課題への取り組み		
重点的な取り組み	進捗状況	課題（今後の方向性）
相談・情報提供の充実 多様な主体と連携した支援体制構築 権利擁護等に関する行政との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティソーシャルワーカーのアウトリーチによる支援により、深刻な事態に陥る前に相談や介入を行った。（相談延べ件数539件、継続支援実件数21件） ・地域の方が気軽に相談できる場として、市内5地区での出張相談会を、令和2年度5回から、12回に増やして実施した。 ・ボランティアセンターのページについて、スマートフォンで見やすいよう、修正した。 	コミュニティソーシャルワーカーの周知を図り、要支援者の早期発見が必要。また、会議への参加等により関係機関との連携を図り、地域における生活課題への取組みをさらに推進していかなければならない。生活課題を解決するためには、支部や関係機関等と連携を図る必要がある。
3 戸田市社会福祉協議会の体制の強化		
重点的な取り組み	進捗状況	課題（今後の方向性）
経営管理の強化 地域づくりに向けた人材確保・育成 活動財源の確保 災害ボランティア体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の推進に向けた福祉総務課との協議を実施した。 ・自動販売機の設置について企業と調整し、売上の中から継続的に寄付を頂くことになった。 ・災害ボランティアセンターの設置、運営等について、市と協定を締結し、災害時の連携強化を図った。 	次期の計画策定において、活動目標を明確に示す必要がある。また、市民・企業等に本会の取組みを周知、理解いただき、財源の確保に努めなければならない。災害時において、迅速かつ適切に役割を果たすことができるよう、引き続き連携する。